

2013年4月1日～2018年9月30日の間に 中国労働衛生協会において定期健康診断および騒音作業健康診断を 受けられた方へ

—「職場における騒音曝露がコレステロール値・血圧・血糖値に与える影響の検討；健康
診断結果を用いた後向きコホート研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 病院長 金澤右

研究責任者 岡山大学病院 新医療研究開発センター 助教 三橋利晴

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

最近の研究により、職場環境で騒音があるとコレステロールや血圧が高くなりやすいことが分かってきています。しかし、これまでの研究はアメリカのデータであり、日本人のデータでの研究はありません。また、コレステロールや血圧だけでなく、血糖値への影響もはっきりしていません。

この研究の目的は、過去の健康診断データを用いて、丁寧に解析することによって職場環境の騒音がコレステロール・血圧・血糖値にどのような影響があるのかを日本人のデータで明らかにすることです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

これまでは、騒音は耳が聞こえにくくなるという健康影響にのみが注目されてきました。この研究の結果として、騒音とコレステロール・血圧・血糖値との関係が明らかできれば、職場での保健指導などの対策をより充実させることができます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2013年4月1日～2018年9月30日の間に中国労働衛生協会において定期健康診断および騒音作業健康診断を受けられた方を対照とします。

2) 研究期間

2018年10月1日～2019年9月30日

3) 研究方法

2013年4月1日～2018年9月30日の間に中国労働衛生協会において定期健康診断および騒音作業健康診断を受けられた方で、下記の条件に当てはまる方のデータを選びます。このデータを用いて、騒音とコレステロール・血圧・血糖値の関連について統計解析を行い、どのような影響があるかについて調べます。

- ① 騒音曝露があり、行政通達による騒音健診を実施している企業で働いている。
- ② 2013年4月1日から2018年9月30日に中国労働衛生協会にて定期健康診断および騒音健診を実施している。

中国労働衛生協会からデータを受取る際には、パスワード保護されたファイルをCD-Rに保存し、書留郵便等の安全性の高い方法で郵送して頂きます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、定期健康診断および騒音作業健康診断の結果として、すでに保存されている健診項目の結果のデータを使用させていただきます。なお、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 労働安全衛生法施行規則に定められた定期健康診断項目
- ・ 行政通達に定められた騒音作業健康診断項目

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学鹿田キャンパス（基礎研究棟7階 疫学・衛生学分野）で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、研究用のデータには個人を特定できる情報は含まれていないため、この研究における個人情報の開示はできません。利用するデータは定期健康診断および騒音作業健康診断と同様ですので、お手元の健康診断結果をご確認いただきますようお願いいたします。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 新医療研究開発センター

氏名：三橋 利晴

mitsuh-t@cc.okayama-u.ac.jp

既存情報の提供を頂く機関

公益財団法人中国労働衛生協会 理事長 宮田 明